

民生委員・児童委員通信

# しあわせ

HAPPY NETWORK

No.17 平成 25 年 9 月

発行 守山市民生委員児童委員協議会

事務局 守山市社会福祉協議会  
住所 守山市下之郷三丁目2番5号  
TEL 077-583-2923

## 《県外研修報告》

### 石川県・陽風園を訪問

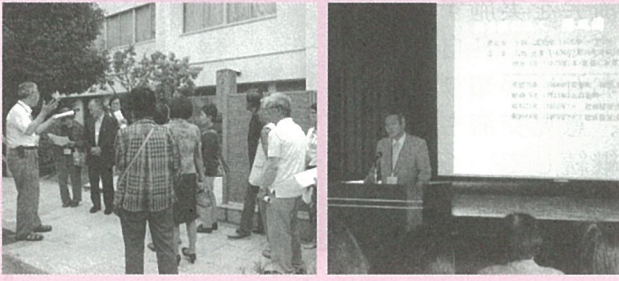


陽風園は、明治維新後の動乱期に、園祖小野太三郎翁が私費を投じて購入した民家を生活困窮者に開放し、その救済にあたったことを始まりとして、これまで福祉の道を一路邁進し、今年創立 140 周年を迎える国内でも最も歴史のある施設に数えられます。

同園は「福祉的支援を必要とする一人ひとりに仁愛の精神をもって尽くす」ことを普遍の理念とし、職員には「心穏やかに、明るく、元気に笑顔で相手と寄り添っていく」人格あふれる姿が見られ、陽風園の理念でもある「仁愛の精神」がまさに体现されていました。

また常に職員一人ひとりの意識改革や時代のニーズに答える事業展開を行うことで、地域福祉の拠点として役割を担っています。

耐震化工事の中、見学箇所は限られていましたが、高齢・障害・児童・生活困窮者・医療といった福祉保健分野を総合的に運営されている施設はあまり例がなく、意義のある研修となりました。



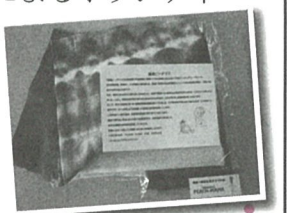
◆総会概要◆  
去る、五月二十四日、生涯学習センターにおいて市長さんを始め来賓の方々をお迎えして守山市民児協の総会が開催されました。  
会長あいさつの後、来賓の皆様からねぎらいと激励のお言葉をいただきました。議事に入り、平成二十四年度の事業並びに会計報告があり、原案通り承認されました。引き続き、平成二十五年度の活動方針、事業それに伴う予算の審議がなされ原案通り承認されました。

この後、東日本大震災滋賀県内避難者の会・世話人代表 遠藤正一氏から「福島で起きたこととして、これからのこと」と題して講演をいたしました。

「ある種の興奮状態に陥り、自身のことを考えずに、自然に本能的に他の人を助けようとする義侠心かられました。」と述べられました。以後、当然のことながらインフラが止まり、ガソリンが入らないことに一番不便を感じられました。避難所においては、ほとんどの人が、着の身着のまま避難する中、行政のお粗末な対応で避難所が大パニックに陥ったこと、救済物資が業界からの画一品しかなかったことなどをあげられました。

## 福島ピーチママの活動紹介 ～福島へ野菜を送るママの会～

「福島ピーチママ」は福島県から滋賀県に避難してきた母親たちによるボランティアサークルで、福島で暮らす子どもがいる家庭に旬の野菜を送る活動を続けておられます。野菜代金は各世帯が支払い、1回 1,000円ほどかかる送料は型染めの手ぬぐいやエコバックなどをバザーで販売した収益で負担されています。バザーの商品はすべて手作りで「きずな one for all」(守山銀座商店街)でも販売されています。



## 声

### 『善はあふれ出るもの』

チエロ奏者  
(元・大阪フィルハーモニー交響楽団)  
菱倉 新緑



近頃はボランティアという言葉をよく聞くようになった。辞書で調べると「社会事業に対して無料奉仕をする人(事)」とある。心に余裕がなければ、奉仕の気持ちには起これないのか？東日本大震災の直ぐ後、5月の初めに故郷福島市に帰った。福島市内はそれほど地震の損壊も少なかったが、原発から65km離れた場所であっても、放射能の濃度は高く市内はひっそりとしていた。8月再び帰省したが、「木や草が生えている所は濃度高いので近づかないように」とのこと。墓参りも庭の草刈りもできない。とに角、北上して津波の被害をこの目で見るに行くことにした。仙台へ石巻まで電車に乗ったが、松島あたりでレールが破損しておりバスに乗り換ええた。街か田畑であったと思われる荒涼とした場所をほとんど通り過ぎ、石巻に到着。街中は電気が来ていない為、昔のように警察官が手で交通整理をしている。

海の見える場所に呆然と立ちすくんでいると、通りがかりの人が声を掛けて下さった。「遠い所から来たのですか？全国から沢山のボランティアが来て下さってこんなに綺麗に片づけていただき本当に感謝しています。この場所には中州があつて映画館や飲み屋街もあつたけど全て流されてしまった。」と。他所から来た私に全国からのボランティアの皆さんへのお礼を託されたような気がした。高校生・大学生・社会人も何万人ものボランティアが、強制された訳ではなく、自主的に、または誘われて、自分流のスタイルで活動された。思いもかけない出会いがあり、優しさに触れて慰められた足を運ぶ。人の役に立てたなら良かった。爽やかな喜びがそこにある。

守山市内でもボランティア活動が盛んに行われています。形の大小に関らず、お互いにちよつとした心づかいで、支え合い助け合つて私たちは生きています。「善はあふれ出るもの」。気負わず無理をしないで、自分流の優しい心の灯をほんのり、守山の蛍のように。

# 部会活動

## — 第4部会 — (児童・家庭福祉部会)の活動紹介

児童・家庭福祉部会では今回甲賀市にある滋賀県立淡海学園を訪問しました。

淡海学園とは、規定により県が設置している児童福祉施設で、家庭寮方式(小舎夫婦制)の寮舎で夫婦職員が児童と起居をともにしながら情緒の安定を基盤として指導にあたっておられます。現在は22名の子どもたちが生活していますが、多くが家庭や学校で問題がありうまく適応できない子どもたちです。

学園では甲賀の恵まれた自然環境を活かした作業活動やスポーツを中心としたクラブ活動を通して精神力と体力をつけるとともに、施設内に併設された地元小学校・中学校の分教室で学力に応じた学習を行い、将来の社会適応がスムーズにできるよう支援を行っています。はじめは学力に自信のなかった子どもたちも先生の熱心な指導のおかげもあり現在はほとんどの卒園生が高校へ進学しています。作業活動の特色としては、学園の茶畑での茶摘みや陶芸などがあります。また広い施設内の草刈などを地域のボランティアと一緒にすることで忍耐力の向上にもつながっています。

「子どもが変わっても子どもを取り巻く環境が変わらなければ同じことを繰り返してしまう」と最後にお話がありました。家庭はもちろんのこと、地域で子どもを見守っていくことの大切さも、改めて気づかれる有意義な研修となりました。

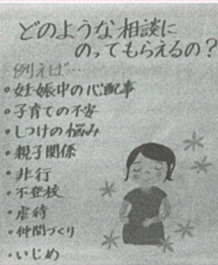


### 主任児童委員会活動紹介 ~活動を広く知ってもらうために~

民生委員児童委員は地域(各自治会)の住民全ての相談支援を担当していますが、児童委員として子どもや子育て家庭の相談支援活動も行います。

主任児童委員は学区全体の子どもと子育て家庭を支援する取り組みを地域の児童委員と連携しながら進めています。

現在、守山市内には13名(各学区1~2名)の主任児童委員がおり、毎月主任児童委員会を開催することで情報交換などを行っています。



今年度の活動の1つとして、より多くの住民のみなさんに主任児童委員の活動を知ってもらうため、手作りのPR教材「主任児童委員ってなあに?」を作成し、第1回目はほほえみセンターで子育て中の親子を対象にお話しをしました。

今後は地域の子育てサロンなどにも出向きPRしていきたいと思っています。

河西学区 若杉記

大津でのいじめ自殺事件、さらには大阪での体罰自殺事件が悲惨な状況をつくる前に、各校内で程々に解決されていたとしたらおそらく今に類似的な事件が根を深め日本中の校内を闊歩していることでしょうか。明るみに出てうみを出す。過去幾多の組織でも経験済です。このことを奇貨として必ずや再発は防ぐとの使命が全国民に課せられたのです。

河西学区 島田記

ある日の夕方、小学生の孫二人が自転車を出かけるのを遠くから見守っていました。孫の後ろ姿しか視野にない私に、いきなり「こんにちは」と声をかけて通り過ぎて行く小学生がいました。その後また別の女の子が同じ様にニコッと笑いながらごく自然に挨拶して行きました。あわてて「今日は」と返した私は、毎朝の登校時のあいさつ運動以上に爽やかな気持ちで帰宅しました。

### 編集後記

(守山学区 石原記)

# 学区だより

## 吉身学区

吉身学区民児協は、主任児童委員2名を含め、27名(男性6名、女性21名)で活動しています。それぞれが担当地域で見守り訪問活動や地域住民の日常的な各種相談・支援活動を行っているほか、学区社協の3部会(福祉・広報・ボランティア)の中心メンバーとして、各種事業・会議への企画・参加など、地域福祉活動の増進に努めています。

主な活動は、「青空の下でしあわせ～あ・挨拶を大切に、お・思いやりの心をもつ、そ・相談する、ら・楽し～楽しく和やかに」を基本方針に、児童福祉・青少年育成では、学区民児協独自の小学校入学時のお祝い訪問ほか、赤ちゃん訪問、福祉の心を育てるつどい、あいさつ運動への協力。高齢者福祉では、ひとり暮らし・老々世帯等の友愛訪問、ひとり暮らし高齢者の激励会、在宅介護者のつどいへの協力。障害福祉



では、施設へのボランティア支援活動、そのほか広報『吉水』の発行、共同募金活動(2年連続で県共同募金会の団体功労賞を受賞)など多方面にわたっています。

吉身学区 淵上記

## 中洲学区

中洲学区では「しあわせで安全安心なまちづくり」を目標にした福祉のまちづくり推進活動計画が平成23年からスタートし、今年で3年目を迎えています。

毎年度終了前に、実施状況等反省する機会をもっていますが、その中で各自治会で高齢者を対象にサロンを開催しているものの、開催回数や開催当日の内容をはじめ、担当者も様々であることがわかってきました。

そこで、地域福祉推進員を中心に、自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員が一同に集まり、各自治会ごとのサロンの現状を交流することにしました。

そして、先日(7月1日)第1回目の交流会を実施することができました。各自治会の様子をお互いが知り合うとともに、意見交流もでき、今後も継続していくことを申し合わせました。

中洲学区 上畑記



## 守山学区

# 活動日誌

守山学区民児協は7月9日に物部小学校、7月18日には守山小学校で、それぞれ所管する校区に分かれて懇談会を開催致しました。まず民生委員・児童委員代表から挨拶、続いて学校からの挨拶のあと自己紹介を行い懇談会に入りました。内容は、各小学校とも学校生活の様子や生徒の状況等、学校側より説明を受け、その後民生委員児童委員の活動内容を報告して質疑応答がなされました。懇談会の中心は「安心安全の学校生活」「地域を愛し自ら学ぶ心豊かな子どもづくり」についてどうしていくか等でした。

担当する地域の中で個々の諸問題がありますが、時間の都合で、個人が学級担任等関係者と直接話し合うこととなりました。最後に民生委員児童委員は、夏休み中のラジオ体操に参加して子どもたちとの挨拶を交わすこと等申し合わせて懇談会は終了しました。